

2014

## 花散策ガイド(都立小山内裏公園)

The Flowers of OYAMADAIRI Park

AD15 高木 真菜美

指導教員 西野 隆司, 氏家 和彦

### 1. 研究目的

現在、公園で遊ぶ子供達が減少している。その原因は、遊具の減少が関わっていると考えられる。遊具がなくなり、公園でどんな遊びができるのか教えてくれる大人も少ない。そこで、公園離れしている親子のコミュニケーションツールとして、公園に行きたくなるような都立小山内裏公園の花散策ガイドを作成。公園で何を遊べばいいのかわからない子供に「花を見つけにいく」という目的を与える。

### 2. 調査と分析

実際の調査の前に、都立小山内裏公園のパークセンター長の木元ひろみさんに取材。

- ・ 珍しい花が多く咲くという「鮎道」と呼ばれる道を重点的に調査することを決定。
- ・ 月に2度以上公園に散策に向かい、実際にどこにどのような花が咲いているのかを調査。
- ・ 鮎道だけでも30種類以上の花を発見。その中で、冊子「都立小山内裏公園の花々」に記載されている花を選出。
- ・ 他にも、園内のイベントへの参加や小山ヶ丘小学校と小山中央小学校へサマースクールに参加し、現代の子供がどのような花を知っているのか、公園での遊び方などを取材。男子は、公園ではスポーツなどで遊ぶことが多く、花への興味があまりない。女子は、公園では遊具などで遊ぶことが多く、花は学校の花壇などに咲く花などは知っていた。

### 3. コンセプトの立案

「子供が主体となって公園を散策できるわかりやすいリーフレット」を目指した。「親子で一緒に」ということに重点をおき、花の解説は、現在パークセンターにて販売されている冊子「都立小山内裏公園の花々」に記載されているので、冊子とリーフレットを持って公園を散策する形にした。

ターゲット: 公園離れしている親子(小学生)

場所: 都立小山内裏公園(鮎道)

### 4. デザイン展開

ジャバラ折りにインデックスをつけ、右開きの開きやすい形にした。大人も子供も使えるデザイン。

#### ・ ガイドページ

“説明・案内・交通”とリーフレットの見方や公園での注意事項の記載。園内の道のり。最寄り駅の多摩境までの行き方(路線図)を記載。

#### ・ マップページ

“春・夏・秋”と季節ごとに花のイラストや花の特徴などを記載。解説が記載されている冊子「都立小山内裏公園の花々」へ誘導するページの記載。季節ごとのメインカラーは冊子のインデックスカラーにあわせた。

#### ・ イラスト

花のイラストは全部で26種類、ドングリのイラストを6種類掲載(他クイズの花イラストを4種類掲載)。また、地図に苦手意識を持つ小学生の為にイラストマップを作成。イラストにすることで子供に親しみやすくした。

### 5. 完成図



### 6. 結論

パークセンター職員の方や公園の来場者様へのヒヤリングの結果、パークセンター長の木元ひろみさんから「花の初心者にも使える」「季節ごとにまとめているので、公園のリピーターが増える」と好評価をいただいた。また、子連れの母親にも「こういうのがあって嬉しい!」と好評価をいただき、男子小学生にも「お花キレイ!」と興味を持ってもらうことに成功した。都立小山内裏公園には、他の道もあり「ドングリの分布も欲しい」という意見もあったので、今後の展開が見込める。

### 文 献

[参考文献]

都立小山内裏公園パークセンター(編),『都立小山内裏公園の花々』,2009

“花図鑑”,花の制作委員会,<http://minhana.net/>,(2013-02-17)

“公園へ行こう!(都立小山内裏公園)”,財団法人東京都公園協会,<http://www.tokyo-park.or.jp/>,(2013-02-17)

[協力] 都立小山内裏公園パークセンターの皆様